

科目名	発達系理学療法学【理学】					開講 キャンパス	神 埼
担当者	久 保 温 子						
開講年次	3	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	必修（理学）
授業の概要 及びねらい	人間発達学・運動学で学んだ正常運動発達の知識を基に、発達障害を呈する小児疾患の理学療法について学ぶ。脳性まひについては様々な病態を理解し、理学療法を行うための評価・目標設定・治療プログラムについても触れていく。						
授 業 の 到達目標	1) 知識・理解 ・理学療法の対象となる小児疾患について基礎知識を得る。 ・理学療法の対象となる小児疾患の理学療法について理解する。 ・脳性まひの病態と理学療法を理解する。 ・重症心身障害児（者）について理解を深める。 ・重症心身障害児（者）の理学療法について理解する。 ・発達障害を示す多様な疾患の病態を理解し、理学療法の対象として理解を深める。 2) 思考・判断 ・発達領域の症例について評価・統合・解釈を行うことが出来る。 3) 関心・意欲 ・発達領域の作業療法・言語療法について関心をもつ。						
学習方法	講義（小テストを課す）						
テキスト及び参考書等	テキスト：1. イラストでわかる小児理学療法 上杉雅之監修 医歯薬出版 2. PT マニュアル小児理学療法 河村光俊著 医歯薬出版						
評価基準・方法	到達目標						
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験	◎	◎			60		
小テスト等	○	○			20		
宿題・授業外レポート							
授業態度			○		10		
受講者の発表							
授業への参加度			○		10		
その他							
合 計					100		
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	オリエンテーション・小児神経系理学療法の歴史						
第 2 週	脳性まひ 1						
第 3 週	脳性まひ 2						
第 4 週	脳性まひ 3						
第 5 週	新生児・重症心身障害児（者）						
第 6 週	筋ジストロフィー他（神経筋疾患）						
第 7 週	二分脊椎他（整形外科疾患）						
第 8 週	ペルテス病他（整形外科疾患）						
第 9 週	ダウン症他（染色体異常）						
第 10 週	発達障害・社会的療育						
第 11 週	小児評価法・目標・治療プログラム立案						
第 12 週	小児評価法・目標・治療プログラム立案						
第 13 週	小児評価法・目標・治療プログラム立案						
第 14 週	小児評価法・目標・治療プログラム立案						
第 15 週	まとめ						
第 16 週							
備 考	事前学習：教科書を読み、小児理学療法のイメージをふくらませておくこと。 事後学習：小テストに向けて勉強すること。						